

交通安全協会だより（令和3年8月号）

～ いよいよ本格的な夏到来 ～

レジャーシーズンに注意したい夏の交通事故防止

夏は行楽等による交通量や流れの変化、また夏特有の解放感や暑さなどの疲れによる注意散漫が招く交通事故が予想されます。

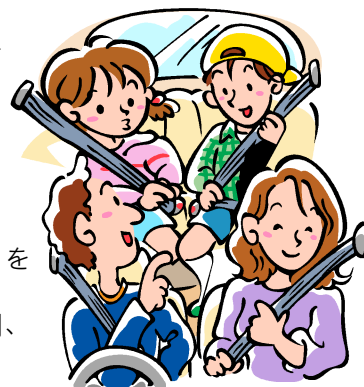
ドライバー自らが交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践し、夏期における交通事故防止の徹底に努めて下さい。

子供と高齢者の交通事故防止

- 子供の外出や自転車利用の機会が増える時期です。
家族で道路を歩く時や自転車に乗る時のルールとマナーについて話し合ってみましょう。
- ドライバーは、子供や高齢者を見かけたら、スピードダウンするなど、思いやりのある運転を心がけましょう。
- 夕暮れ時や夜間の時間帯は、反射材を身に付けて自分の位置を知らせることで、交通事故を防ぐことができます。
夕暮れ時には自動車や自転車の早めのライト点灯を心がけましょう。

全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- シートベルトは、万一の交通事故の際、命を守ってくれる大切なものです。「車に乗れば、シートベルト」を合い言葉に、後部座席を含めた全席で、必ずシートベルトを着用しましょう。
- 6歳未満はもちろん、6歳以上でも必要に応じて、子供の体格に応じたチャイルドシートやジュニアシートを正しく取り付けて使用しましょう。



飲酒運転の根絶

- 飲酒運転は悪質危険な犯罪行為です。
「飲んだら乗らない・乗るなら飲まない・乗るなら飲ませない」を徹底しましょう。
- 体内のアルコールは直ぐには抜けないことを認識し、飲酒の時間、飲酒量を考えましょう。（二日酔いも飲酒運転です。）
- ハンドルキーパー運動を実施しましょう。

過労・脇見運転の防止

- レジャーや帰省などで長距離運転をするときは、目的地までの道路状況や交通状況から、休憩時間も入れた余裕のある計画を立て、運転中疲れを感じたら、早めの休憩や運転交代をしましょう。
- 運転する時は、前をよく見て運転に集中し、特に交差点や横断歩道付近では、手前で十分減速し、歩行者等の有無など安全確認を徹底しましょう。
- 高速道路では、少しの脇見が重大事故の原因となることを自覚しましょう。
- 高速道路上で交通事故を起こした時は、「路上に立たない・車内に残らない・安全な場所に避難する」の3原則を守りましょう。

徳島県交通安全スローガン 阿波の道 ゆずる心と 待つゆとり